

地域・賢治・演劇

岩手大学
人文社会科学部
宮沢賢治
いわて学センター
発足記念
シンポジウム

令和3(2021)年 3月27日(土)

13:30-17:00(13:00開場)

於 岩手大学総合教育研究棟(教育系)
北桐ホール 及び オンライン(ZOOM)同時開催

【第一部】

記念講演

「賢治と演劇」

齋藤 陽一 氏

(新潟大学人文学部教授)

【第二部】

シンポジウム

「地域と演劇」

シンポジスト

坂田 裕一 氏(いわてアートサポートセンター理事長)

齋藤 陽一 氏(新潟大学人文学部教授/身体表現論)

井上 彰 氏(愛媛大学法文学部准教授/英文学)

司会

小野澤 章子 氏(岩手大学人文社会科学部准教授/地域社会学)

全体コーディネイト&総合司会

木村 直弘 (岩手大学人文社会科学部教授)

※参加費無料・要事前申込→



イベントURL:<https://www.iwate-u.ac.jp/info/event/2021/03/003943.html>

☎問合先:

岩手大学人文社会科学部【宮沢賢治いわて学センター】

Phone : 019-621-6672 / E-mail : kenji@iwate-u.ac.jp

地域・賢治・演劇

《岩手大学人文社会科学部【宮沢賢治いわて学センター】について》

岩手大学人文社会科学部では、「こころの相談センター」に続く2つめの学部附属センターとして、令和元年度より「宮沢賢治いわて学センター」が発足しました。その設立目的は、平成の時代、岩手大学地域連携推進センター（現・岩手大学三陸復興・地域創生推進機構）内にNPO的組織として位置づけられていた、「宮澤賢治センター（岩手大学内）」及び「岩手大学宮澤賢治センター」が地道に積み重ねてきた宮澤賢治についての研究・教育・普及活動を継承しつつ、さらに、賢治に限らず視野を地元・岩手に根ざしたテーマ全般へと広げ、本学ならではの活動を推進し、その成果をグローバルに発信することにあります。

センター長は学部長が兼務し、スタッフとして、学部長指名の副センター長1名のほか、学部内および他学部の兼務教員（現在13名：人文社会科学部6名、教育学部2名、農学部1名、理工学部1名）、それに連携研究員（学外：現在4名）で構成されています。具体的な活動としては、研究会（隔月）やシンポジウムの開催、機関誌『賢治学^{プラス}』（年刊）の発行、教養科目「宮沢賢治の世界」や大学院の岩手関係科目の授業担当等が挙げられます。

《岩手大学人文社会科学部【宮沢賢治いわて学センター】発足記念シンポジウム 開催趣旨》

さて、宮沢賢治いわて学センターでは、発足後、定期的に研究会を重ね、農業教育資料館ガイドブック『盛岡高等農林学校と宮澤賢治』や『賢治学』第6輯、第7輯を刊行してまいりました。これに加え、昨年3月21日開催予定がコロナ禍により1年遅れとなりましたが、改めて発足記念企画として、国内の学術協定校および地元からゲストスピーカーをお招きし、第1回のシンポジウムを開催いたします。テーマは「地域・賢治・演劇」です。ご存知のように、盛岡は昔から演劇が盛んな土地柄であり、宮沢賢治作品もよく上演されています。そして、賢治自身、農民劇を実践し推奨しました。いかに地域の文化資源として演劇を位置づけられるか、今後の可能性を探ります。

第一部は、本学部の学術交流協定締結校である新潟大学人文学部教授・前学部長の齋藤陽一氏による記念講演「賢治と演劇」です。齋藤氏のご専門は、チェーホフなどのロシア文学・演劇ですが、日本におけるスタニスラフスキー・システムや井上ひさしの戯曲についてのご研究や批評活動のほか、ご自身でも新潟で学生さんたちと宮沢賢治作品を含めた演劇活動を実践されています。岩手色のない視点をもって研究と実践両面からアプローチできる齋藤氏のご講演は、「賢治と演劇」といういわば手垢のついたテーマに、賢治の地元・岩手人にとっても新鮮な視点を提供していただける貴重な機会です。

次に、第二部では、「いわて学」的視点から、「地域と演劇」というテーマでシンポジウムを開催いたします。シンポジストとして、前出・齋藤氏のほか、当学部が学術交流協定を結んでいる愛媛大学法文学部の准教授でシェイクスピアを専門とされる井上彰氏、そして地元岩手からは、劇団「赤い風」でもご活躍で、いわてアートサポートセンター理事長として岩手の演劇活動を知悉されている坂田裕一氏にご登壇いただき、それぞれの地元・新潟、愛媛、岩手における演劇活動の特色などについてご紹介いただいたのち、フロアも含めてディスカッションを行います。進行役は、地域社会学が専門で、地域における文化資源としての芝居小屋、劇場などについても研究対象として観劇経験が豊富な、本学部の小野澤章子准教授が担当いたします。

【講演者およびシンポジストのプロフィール】

◎坂田 裕一（さかた ゆういち）

岩手県生まれ。NPO法人いわてアートサポートセンター理事長。國學院大学文学部卒業。元・盛岡市中央公民館館長、前・岩手県演劇協会会長。日本演出者協会会員、日本アートマネジメント学会会員。

◎齋藤 陽一（さいとう よういち）

東京都生まれ。新潟大学人文学部教授・前学部長。専門は身体表現論・表象文化論（演劇を中心としたロシア文学、日本の演劇）。東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学。日本ロシア文学会会員。

◎井上 彰（いのうえ あきら）

兵庫県生まれ。愛媛大学法文学部准教授。専門は英文学（シェイクスピアを中心とした演劇）。関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。日本シェイクスピア協会会員。

◎小野澤 章子（おのざわ あきこ）

群馬県生まれ。岩手大学人文社会科学部准教授。専門は地域社会学（地域における文化資源としての芝居小屋、劇場）。明治学院大学大学院社会学研究科博士課程単位取得満期退学。地域社会学会会員。